

あか ぼう し
赤い 帽子

黄 曉宇 [文 & 絵]

ファン Xiaoyu Huang

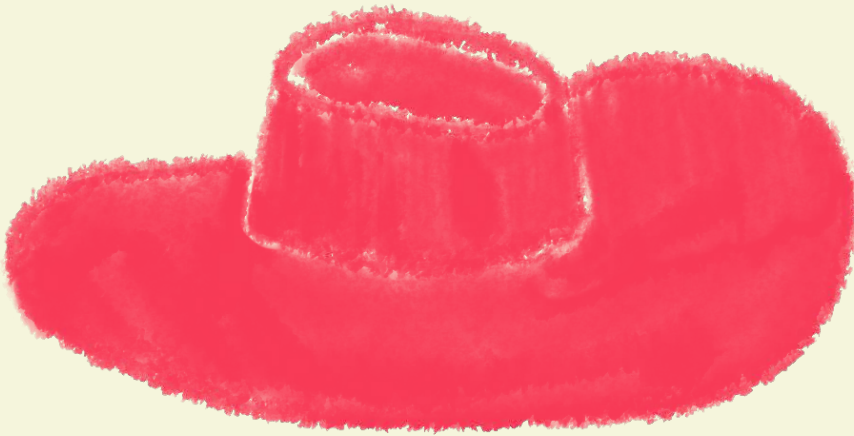
J A P N 1 2 3 1 T A D O K U

S P R I N G 2 0 2 3

J A P A N E S E
G R A D E D
R E A D E R S

.....
L E V E L

1



CHAPTER 1

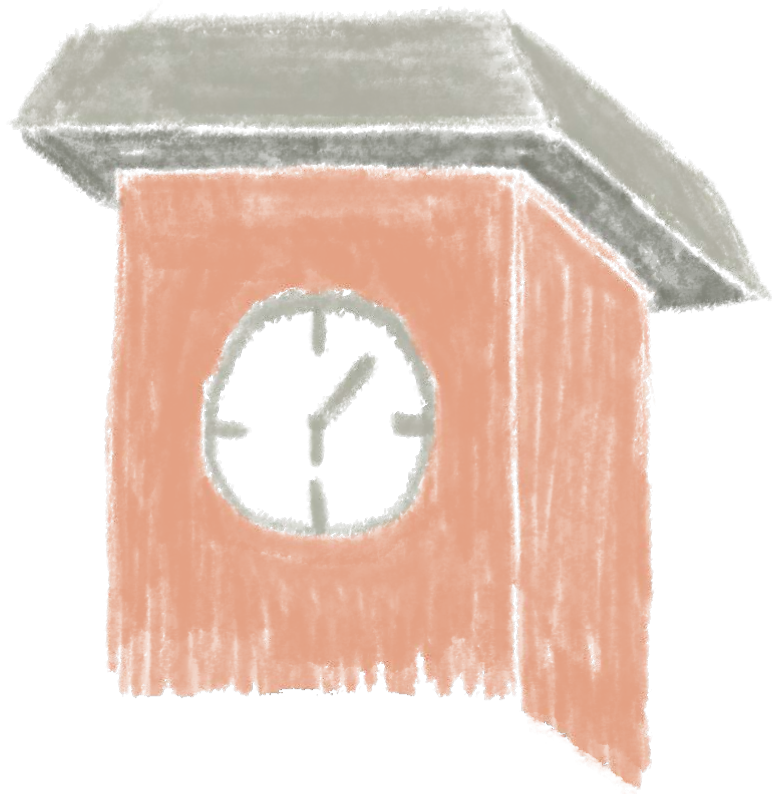
さくら
桜



赤い帽子

おとこ こ てんこう
男の子は転校しました。

まち きれい
「この町は綺麗ですね。」



ある日、

がっこう かえ みち ふたり あ
学校からの帰り道で二人は会った。

ぼうし
「あ、帽子が！」

おとこ こ くうちゅう ぼうし
男の子は空中で帽子をキャッチしました。



「これはあなたのものですか？」

「はい。」

^{おんな}女の子は「これは、
^{みし}見知らぬ^{ひと}人からのプレゼント」
^いと言いました。

それから、2人はいい友達になりました。
ともだち

卒業後まもなく、2人は結婚しました。
そつぎょうご けっこん



CHAPTER 2

はいいろ せ かい 灰色の世界



赤い帽子

おんな ひと みち びょうき も
女の人 は 未知の病気を 持っていました。

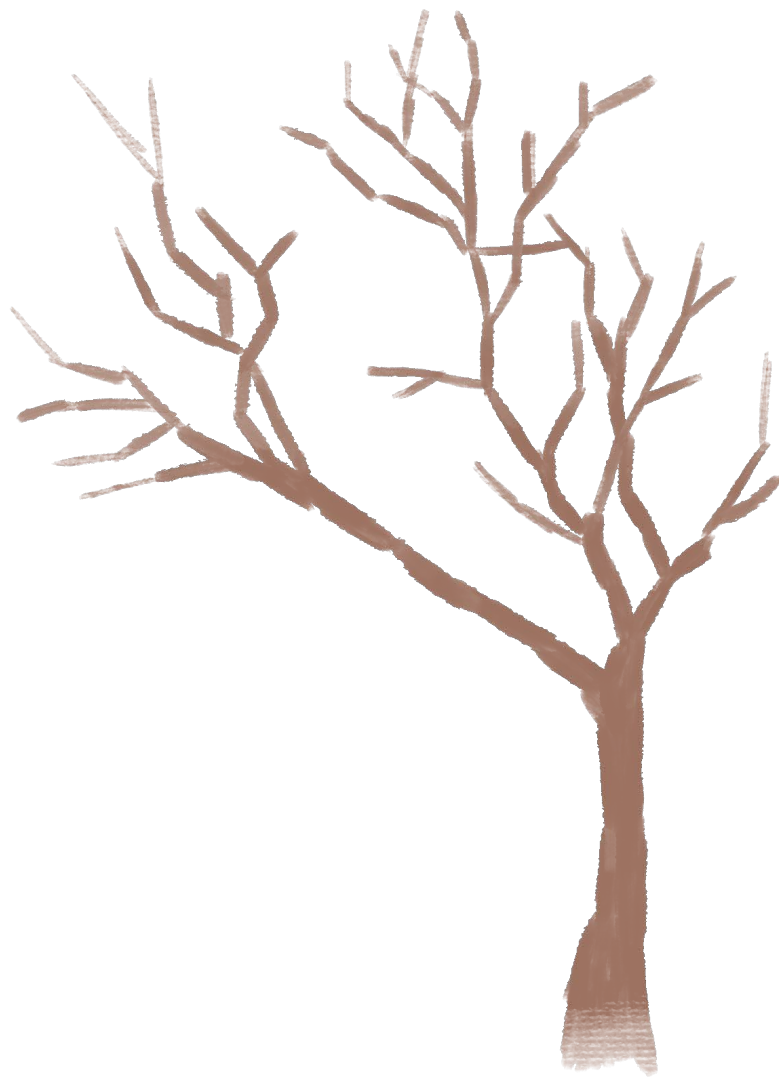
その日 から、入院 していました。

おとこ ひと まいにちびょういん い
男の人 は 毎日病院 に 行きました。

「ね、外そとの桜さくらはいつまた
咲さくのでしょうか。」

「もうすぐで。」

「もうすぐで。」



ある夜、男おとこの人は泣ないました。

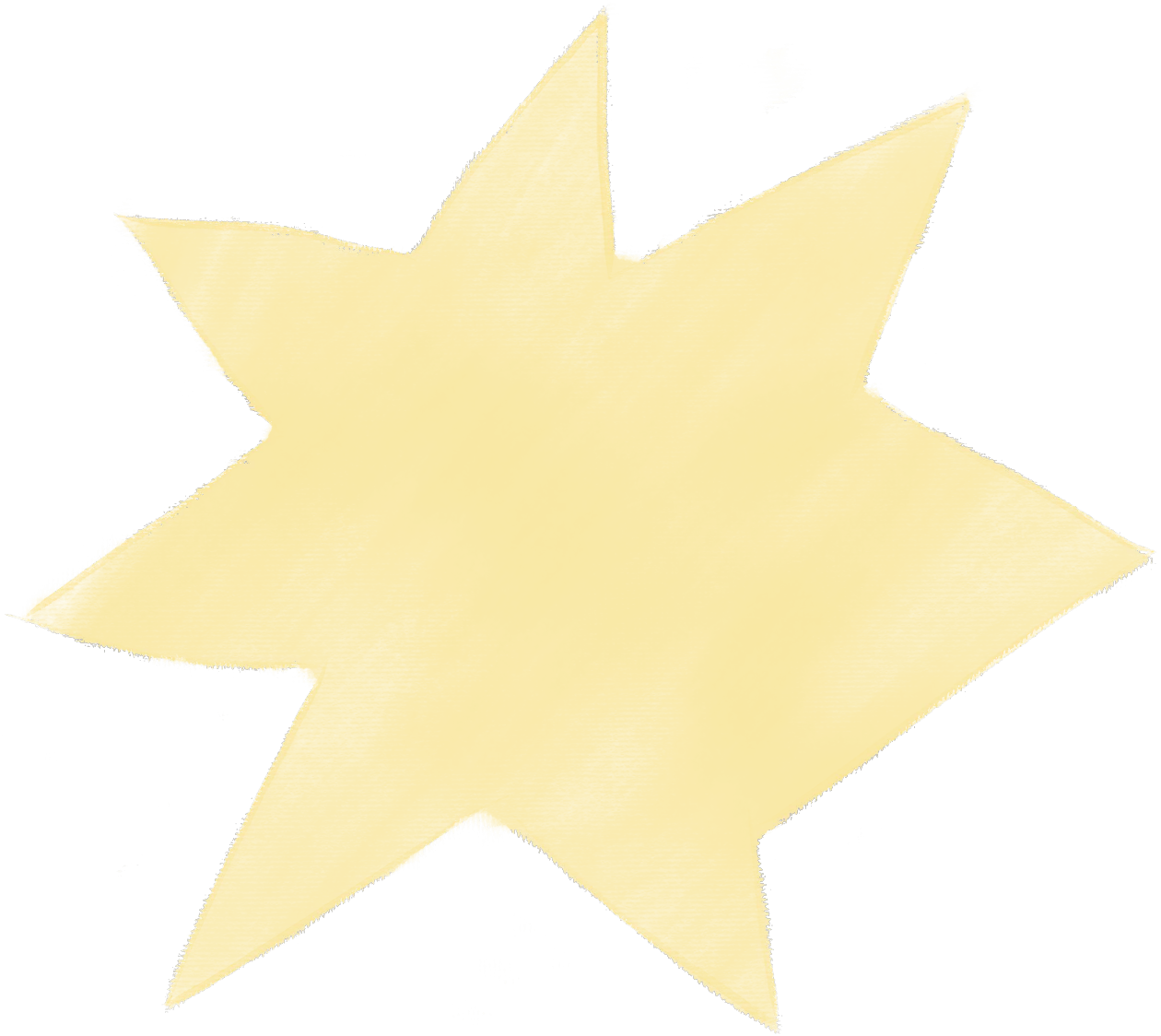
「神かみ様さま、なぜ」

「なぜぼく僕つまの妻うばを奪うばったのですか。」

「あ、その^{ぼうし}帽子！」

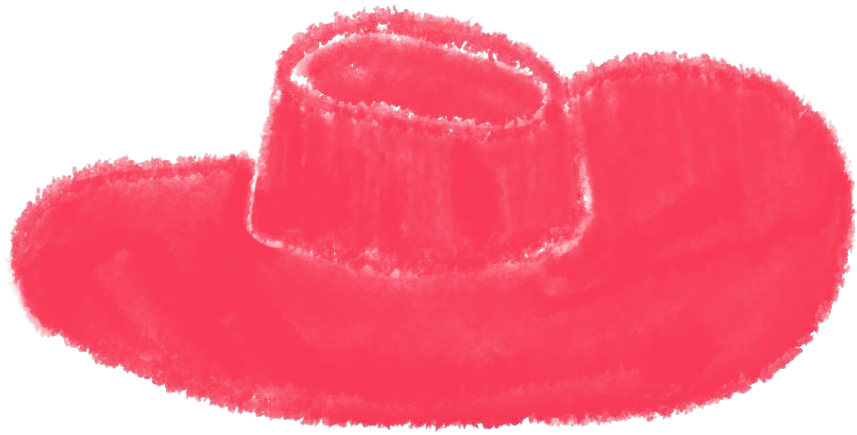
「^{ひか}光っている！」

^{おとこ}男の^{ひと}人は^{ぼうし}帽子をしっかりと^も持っていました。



CHAPTER 3

あか 赤い ぼう 帽子



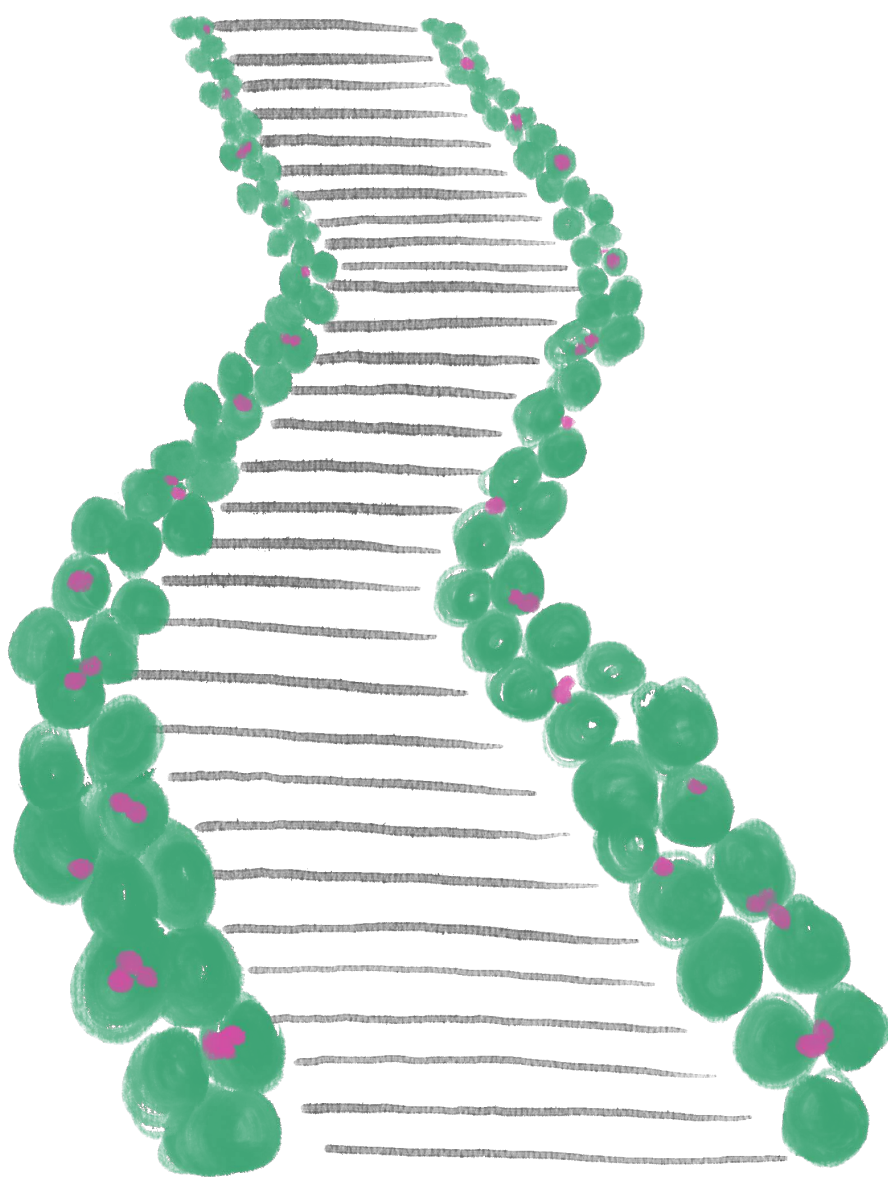
赤い帽子

「あ、ここはどこ？」

その^{ひかり}光は男^{おとこ}の人^{ひと}を過^か去^こに引^ひき戻^{もど}した。

「ここは、^{こうこうせい} 高校生の^{とき} 時の^{まち} 町が。」

「いや、もっと^{まえ} 前かもしれない。」



おとこ ひと
男の人は、
ひと ひと あそ ひと おんな ひと
一人で遊んでいる女の子を見ました。

かれ ちい おんな ひと ひと ある
彼は小さな女の子の方へ歩きました。



「そんなバカなことあるか！」

この^{おんな}女の^こ子は、
^{おとこ}男の^{ひと}人の^{つま}妻でありました。

りょうしん
「両親は？」

おとこ ひと
男の人は、

おんな こ りょうしん み
女の子の両親が見ませんでした。

し
「ええ、知らない。」

いっしょ さが
「じゃ、一緒に探してみましよう。」

おんな こ りょうしん さか した はっけん
女の子の両親は坂の下で発見されました。

「ありがとうございます。」

「^{さくら}桜も、

「^{はや}早くお兄さんにお礼を^{れい}言いなさい。」

「ありがとう！」

おとこ ひと かえ
男の人は帰ろうとしたとき、
あることを思い出しました。

「この帽子をお持ちください。」

「ええ？ ほんとうにいいですか。」

「もちろん。」

